

学校番号	17	学校名	静岡南部特別支援学校	校長名	川崎 みどり
------	----	-----	------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	危機管理マニュアルを理解し、緊急時に取るべき行動が分かっている	A : 9 B : 10 C : 0 D : 0	A 3.5	職員の多くが緊急時に取るべき行動が分かっている。訪問教育指導時の対応等、マニュアルの必要な箇所の改訂を進めている。
		不良個所の迅速な改善と、物品の在庫状況の確認を行っている	A : 10 B : 9 C : 0 D : 0	A 3.5	安全を最優先に不良個所の改善を進めた。また、児童生徒の学習や職員の勤務に支障のないように、物品の管理を行った。
イ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にする学校生活の充実	児童生徒が自分のことに自信をもって取り組み、友だちに関わろうとすることができる	A : 7 B : 12 C : 0 D : 0	B 3.4	教師の支援を受けて、自分に合った方法で活動に取り組み、友だちに自分なりの方法で気持ちを伝えようとする姿が見られた。
ウ	生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践 教職員が主体的に語り合っ て取り組む授業改善や業務改善の充実	児童生徒、一人ひとりの学びの積み重ねを教職員間で共有できる	A : 11 B : 8 C : 0 D : 0	A 3.5	学部会等で児童生徒の学びの積み重ねを共有し、授業づくりに生かすことができた。
		児童生徒が、「わかった、できた、またやりたい」という気持ちで活動し、自分の意思や気持ちを表現している	A : 12 B : 7 C : 0 D : 0	A 3.6	言葉や身振り、機器の使用等、自分に合った方法で、欲しい物ややりたい活動を選んだり、楽しさややりがいを表したりする姿が見られた。
		実態把握をし、児童生徒一人一人に合ったコミュニケーション手段を取り入れている	A : 13 B : 6 C : 0 D : 0	A 3.7	一人一人に合った方法でコミュニケーション上の理解や表出を促し、向上する姿が見られた。

様式第3号

エ	<p>教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む、授業改</p>	<p>「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えがある授業を行っている</p> <p>教職員が授業準備や反省の時間を十分に取り、授業改善が重ねられる。</p>	<p>A : 5 B : 14 C : 0 D : 0</p> <p>A : 11 B : 8 C : 0 D : 0</p>	<p>B</p> <p>3.3</p> <p>A</p> <p>3.6</p>	<p>子どもの思考に沿った単元設定や授業展開を行った結果、自分なりの問いや考えをもつ姿が見られた。ただ、問いや考えを引き出す教師の工夫はまだ難しい場合も多い。</p> <p>予定の調整や、細かな業務の改善を図ることで、授業準備や反省を十分に行い、授業改善を重ねられた。</p>
オ	<p>地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実</p>	<p>児童生徒、教職員、保護者、地域の方が、交流をしてよかったと思っている</p>	<p>A : 15 B : 4 C : 0 D : 0</p>	<p>A</p> <p>3.8</p>	<p>ボッチャや共同制作、読み聞かせ、センターとの合同の催し物等で地域の方々と交流し、充実感ある活動に児童生徒、教職員の満足度は高かった。</p>
カ	<p>共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進</p>	<p>児童生徒が、同世代とのかかわりを楽しみ、自分からかかわっている</p>	<p>A : 2 B : 17 C : 0 D : 0</p>	<p>B</p> <p>3.1</p>	<p>学校間交流や交流圏交流を計画的に進め、活動を楽しむ様子が見られた。ただ、主体的にかかわることへの支援は難しく、内容を含めて、今後工夫していきたい。</p>